

**ダイハツ、ペダル踏み間違い時の急発進を抑制する後付け安全装置を発売**

ダイハツ工業（株）（以下ダイハツ）は、既販車を対象に、ペダルを踏み間違えた際などに起きる急な発進を抑制する後付け安全装置「つくつく防止（ぼうし）」を12月5日（水）から全国一斉に発売する。

本装置は、ペダルの踏み間違い事故による衝突被害を軽減することを目的に開発したもので、現在お乗りいただいているクルマに対し、後付けでソナーセンサーやコントローラー、インジケーター等を装着することで、誤操作による重大事故の減少への貢献を目指すものである。

ダイハツは2012年に軽自動車ですべて初めて※1衝突回避支援システム「スマートアシスト」を導入以降、順次機能の強化や搭載車種の拡大を図り、現在は第3世代となる「スマートアシストⅢ」を、軽自動車、小型車に搭載している※2。衝突回避支援ブレーキ機能や、前後方誤発進抑制制御機能などを備えながら、お求めやすい価格でご好評いただき、スマートアシストの累計販売台数は200万台を超えている※3。

一方、世の中ですすでにお乗りいただいているダイハツ車の約8割はスマートアシスト非搭載車であるため、購入後のお客様も含めより多くの方々に、安全・安心に外出することで元気な生活を送っていただきたい、交通事故による死傷者を一人でも少なくしたい、との思いから本装置の開発に至った。

本装置は、車両前後に取り付けたソナーセンサーが前後方3メートル以内にある障害物を検知し、運転者がアクセルペダルを強く、速く踏み込んだ場合に、システムがペダル踏み間違いと判断。コントローラーが燃料の供給をカットすることでエンジンの出力を抑制、室内に取り付けたインジケーターとブザー音により運転者に警告し、急発進を抑制する仕組みとなっている。また、ソナーセンサーで前後方の死角にある障害物を検知し警告する「パーキングセンサー機能」も備える。

まずは本日より、累計販売台数の多い、2007年12月に発売した2代目タント（L375型／L385型）に対応した装置※4を発売し、その後順次対応車種を拡大させる。

ダイハツは“Light you up”の考え方のもと、これからもお客様一人ひとりに最適で、安全・安心なモビリティを提供すべく、様々なお客様のニーズにお応えしていく。

	メーカー希望小売価格<消費税込>
後付け安全装置「つくつく防止」	34,560円 （59,508円[標準取付費込]）



「つくつく防止」ロゴ



「つくつく防止」作動イメージ

2代目タント
(L375型／L385型)

※1：ダイハツ調べ。2012年12月に軽乗用車「ムーヴ」に初めて搭載
 ※2：軽乗用車「コペン」を除く全車種に搭載
 ※3：2018年11月末現在。ダイハツ調べ
 ※4：タント（L375型[2WD]／L385型[4WD]）のCVT車に搭載可能